

土岐市 肥田地区、農南地区

令和2年度

【地域の概要】

- 本市は、中山間地域の小規模な農地が多く存在している。
- 農家の高齢化や後継者不足により、遊休農地が発生している。
- 水田耕地面積は262haであるが、そのうち自己保全管理地が101haとなっている。
- 平成28年に新規農事組合法人が設立され、8.2haが農地集積されている。

取組開始前の状況や課題

- 中山間地域の小規模な農地が多く、生産性が悪いため、借り手が見つからない。
- 農家の高齢化や後継者不足により、耕作されていない農地が多く存在している。

取組内容

- 農地を探している相談者に対し、耕作されていない農地の所有者を繋ぐことにより、遊休農地の解消を図った。
- 土地現況確認を行い、荒廃農地の調査、確認を行った。



実際に農地中間管理機構を通して、
利用権設定が行われた遊休農地

今後の展開と方向性

- 農地を探している農業者（担い手）と耕作されていない農地所有者の繋ぎを継続していく。
- 貸し手、借り手の双方に対し、農地中間管理機構の活用を勧める。
- 人農地プランの実質化に向け、地元調整などを行っていく。